

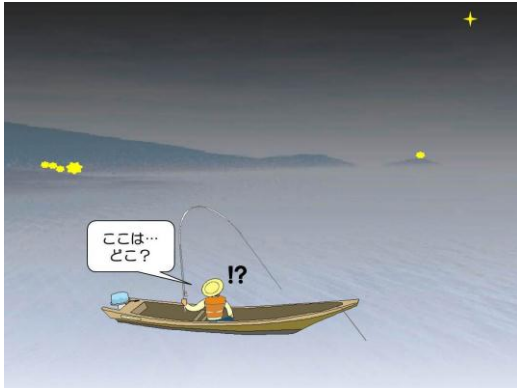
# マリレ情報よろず屋

第 7 号  
平成 25 年 2 月 発行  
第二管区海上保安本部  
マリンレジャー安全推進室

マリンレジャーに関する安全情報など様々な情報をお届けします！

## 海の事故情報

### 1 月中のマリンレジャーに伴う船舶海難の発生状況

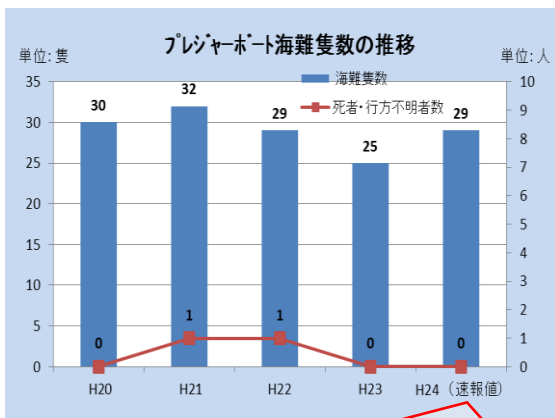


【船位喪失】1月23日、仙台塩釜港から出港した釣船（長さ約7m、1名乗船）が、自船の位置がわからなくなり、当日の夜、家族から118番通報により救助要請がありました。海上保安庁のヘリコプター及び巡視船艇が搜索した結果、ヘリコプターが名取市閑上漁港の沖で同船を発見しました。乗船者は怪我もなく、巡視艇に誘導されて無事定係地に入港しました。原因は、釣りを終えて地形を頼りに帰港途中、日没で暗くなったために地形が見えなくなり、自船の位置が分からなくなったものと判明しました。

レーダーや GPS がない船で夜間航行する場合は、灯台の灯火や特徴のある街灯りなどを頼りに航行しなければなりません。慣れた方でも位置を見誤ることがありますので、夜間航行はできるだけ控えましょう。船位喪失海難の発生原因で多いのは、レーダーや GPS がない船で沖に出ている間に雪や霧などで視界が悪くなり、沿岸の地形や目標物が見えなくなり、位置の確認が困難になるケースです。出港前に最新の気象・海象情報を確認して、視界が悪くなることが予想される場合は出港を控えるか、早目の帰港を心がけましょう。

## 海の安全情報

### 平成 24 年中のプレジャーボート海難の発生状況（速報値）

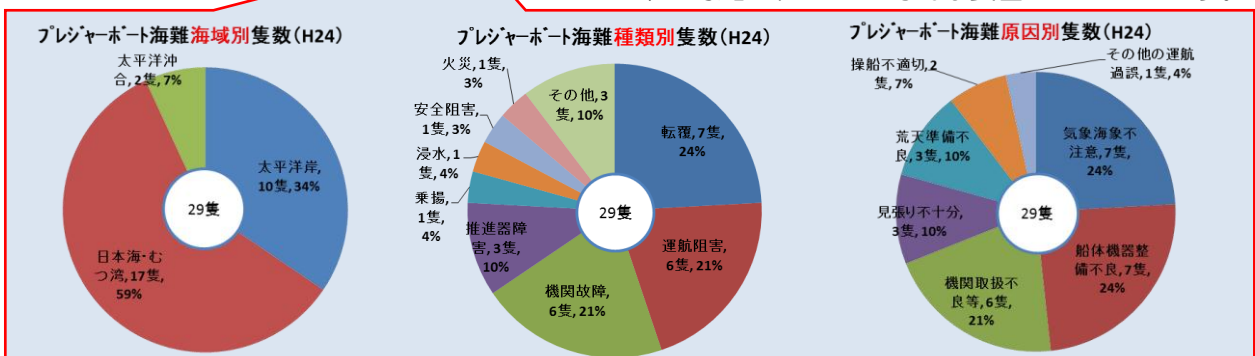


平成 24 年中に東北の海で発生したプレジャーボートの海難隻数は 29 隻で、前年に比べ 4 隻増加。これらの海難による死者・行方不明者は発生していません。

海難の発生海域別では、太平洋沿岸 10 隻、日本海沿岸・むつ湾 17 隻、太平洋沖合 2 隻。

海難の種類別で多いのは、転覆 7 隻、運航阻害\*6 隻、機関故障 6 隻など。

海難の原因別で多いのは、気象・海象不注意 7 隻、船体機器整備不良 7 隻、機関取扱不良 6 隻など。平成 24 年の海難は、全て人為的な要因によるものです。



※運航阻害…バッテリーの過放電、燃料欠乏、無人漂流などをいう。

### プレジャーボート海難ワースト3と海難防止のためのポイント

#### 第1位 転覆

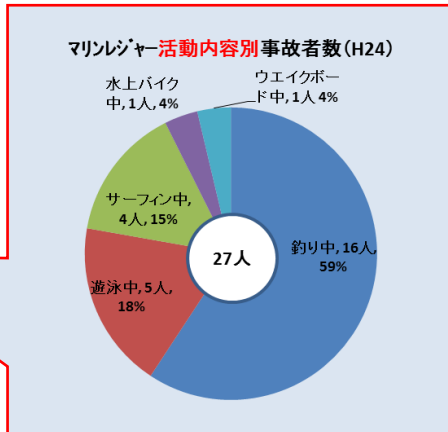
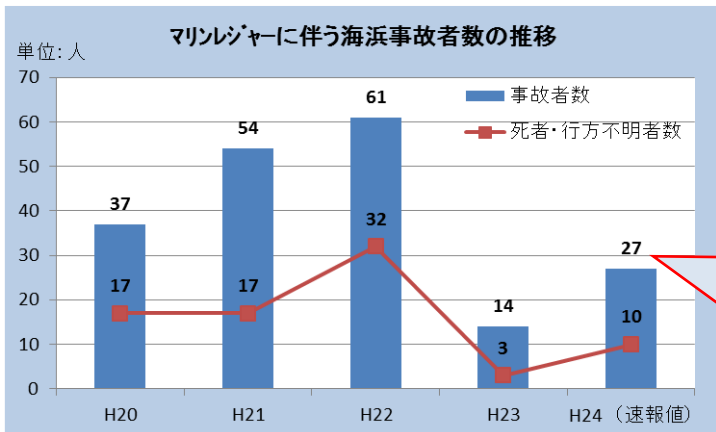
 「最新の気象・海象情報の入手。無理な航海はしない。早めの避難。」

#### 第2、3位 運航阻害・機関故障

 「出航前点検、定期点検の励行。オイル、バッテリーなど消耗品類の定期交換の励行。」



### 平成 24 年中のマリンレジャーに伴う海浜事故の発生状況（速報値）



平成 24 年中に東北の海で発生したマリンレジャーに伴う海浜事故者数は 27 人で、前年に比べて 13 人増加しています。これらの海浜事故による死者・行方不明者数は 10 人で、前年に比べて 7 人増加しています。

マリンレジャーの活動別で多いのは、釣り中 16 人、遊泳中 5 人、サーフィン中 4 人など。

#### 釣り中の事故防止のためのポイント

 「最新の気象・海象情報の入手。単独行動はしない。家族へ釣行予定を伝えよう。」

自己救命策の確保（ライフジャケットの着用、携帯電話等連絡手段の確保、海のもしもは 118 番）も忘れずに！

### 海の言葉 海や船に関する用語について解説します。『風向と風力』



大時化の中海難救助に向かう巡視船

NHK ラジオ第二放送では、定時に各地の天気などが放送されています。「宮古では、東の風、風力 3、快晴、12 ヘクトパスカル、氷点下 1 度。秋田では…」といった放送を聞いたことがある方も多いと思います。データ通信が発達した現在は、はるか沖合いを航海する船でも最新の天気図を画像として入手することが可能ですが、今でも、放送される各地のデータを天気図用紙に記入して、天気図を作成して天気予報に役立てている方は多いようです。

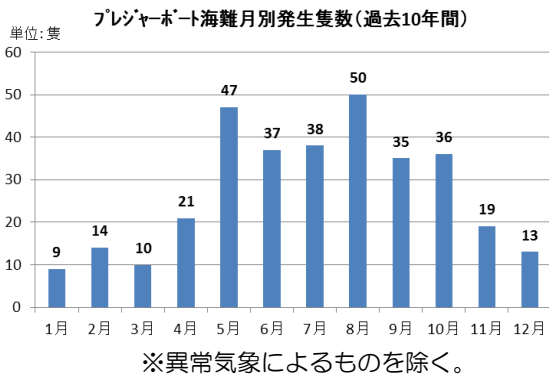
風向は、風の吹いてくる方向を北、北北東、北東、東北東、東などの 16 方位を用いて表します。

風力は、風の強さを「気象庁風力階級表」に基づいて、

0から12までの階級で表します。階級表では、風力3だと、風速 3.4m/s 以上 5.5m/s 未満に相当する強さになり、このときの海上の様子を「小波の大きいもの。波がしらが砕けはじめる。あわはガラスのように見える。ところどころ白波が現われることがある。」と説明されています。

気象通報で使用する天気や風浪の階級などは、昭和二十八年運輸省告示第五十八号(気象庁風力階級表等)により定められています。

## ワンポイント講座 海難事故防止のためのワンポイント講座です。『冬特有の海難』



平成15年から平成24年までの10年間のプレジャーボート海難の月別の発生隻数を見ると、11月から翌年4月までは、比較的少なくなっています。冬は降雪や季節風などで荒天となる日が多く、活動する船も少ないことが要因と思われます。一方で、冬に特有の海難として、大量の雪が係留中の船に積もって転覆する海難も発生していますので、降雪が多い場合は、随時、船の状況を確認して早めの除雪に心がけましょう。長期間使用しない場合や、発達した低気圧の通過などで荒天が予想される場合は、できるだけ陸揚げして保管しましょう。

## 羅針盤 編集担当者の四方山話的コラムです。

『ペットボトルの効用 ～某焼酎の空ボトルがもたらした奇跡～』

内航タンカーの乗組員 A さん(当時 28 歳)は、10 月のある日の午後 11 時ころ、航海中にデッキに出て、片手に携帯電話を持ちながら手摺りに寄りかかって小用を足していたところ、お酒を飲んでいたり、足元がふらつき、手摺りを乗り越えて海に転落してしまいました。誰も A さんの転落に気が付かないまま船は遠ざかっていき、岸までは4、5海里くらい離れていました。A さんは、絶望的な気持ちに襲われながらも、陸の灯りに向かって泳ぎましたが、やがて疲れてしまい、泳ぐのを諦めて漂流していました。空が白み始め、浮かんでいることにも疲れてきたころ、近くに空のペットボトルが流れているを見つけました。これを抱くようにして漂流していたところ、午前 8 時 30 分ころ付近を航行していた漁船に発見され、救助されました。A さんは、低体温症により病院に搬送されましたが、生命に別状はありませんでした。某焼酎の空ペットボトルがもたらした奇跡の実話です。



## 本紙を印刷物でご覧の方へ

マリシ情報よろず屋をホームページからご覧になる場合は、次のURLから!「マリシよろず屋」で検索してもヒットします!

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/O2kanku/yorozuya/index.htm>

## 大切な命!自分で守る

海上保安庁では、大切な命を自分で守るため、そして、一人でも多くの人を救助できるよう、次の3つを基本とする「自己救命策確保」を推進しています。



ライフジャケットの  
常時着用



携帯電話などの  
連絡手段の確保



救助要請は118番

海のもしもは!

**118**